

わくわく田底っ子

第29号

文責：校長 益永 一幸

授業参観・人権集会・学級懇談会～ご参加ありがとうございました～

12月8日（金）に行いました「授業参観・人権集会・学級懇談会」には、年末で大変お忙しい中、多くの保護者にご参加いただきありがとうございました。授業参観は、人権に関する授業を行いました。また、人権集会では、熊本県人権教育研究協議会会長（玉名市立横島小学校長）の「森山資典」様を講師に招き、「なかまをつくる部落に生まれて」という演題で講話をしていただきました。なかまと共に部落差別をはじめあらゆる差別やいじめをなくし、人権文化を創造していくという力強いメッセージをいただきました。

21世紀は「人権の世紀」とも言われています。すべての人間が人間として尊重され、自由であり、平等であり、差別されてはならないことを定めた「世界人権宣言」は、1948年12月10日に国際連合で採択されました。12月10日は「世界人権デー」と定めています。田底小学校では、熊本市人権教育の目標である『自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること』ができるようになり、それが具体的な態度や行動に現れるようにすること」をもとに全ての教育活動で取り組んでいます。

めあてに向かって・みんなで応援して取り組んだ「ハッピーランランデー」

12月13日（金）、冬を感じさせないポカポカ陽気の中、恒例の「ハッピーランランデー」を行いました。小学生は、持久走は速さを競う競技ではなく、自分のペースで走り続ける能力を育て、続けて運動する楽しさを味わうことが目的です。低学年は3分間、中学年は5分間、高学年は7分間と設定し、その時間でどれだけ走ることができるかを自己評価しながら高めていきます。本番では、たくさんの保護者や友達の応援があり、多く子どもたちがめあてを達成できたようです。お忙しい中応援に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。子どもたちには2学期の思い出になった行事として記憶されることでしょう。



校則見つめ直し検討委員会 ～田底小「メディアルール」をつくろう～

12月15日（金）に「田底小学校校則見つめ直し検討委員会」を開催しました。参加者は、地域・保護者、児童代表（なかよし運営委員会代表）、教職員代表の三者で「メディアの使い方に関するルール」を決めました。これまで、児童一人ひとりの意見を集め、代表委員会で児童ルール案を決め、それをもとにこの会で話し合い、決定しました。ルールは自分たちで作り、自分たちで守ることを通して、自ら判断し正しく行動できる児童を育成していきたいと思えます。